

## ○三陸北部森林管理署久慈支署の「採材現地検討会」に出席しました。

青森事務所では毎年、森林管理署等の採材検討会に参加し、技術指導や情報提供などを行うことで、国有林材を円滑・効果的に活用するよう努めています。令和6年10月10日（木）に岩手県九戸郡野田村の和佐良比山国有林で開催された「令和6年度 採材現地検討会」に、青森事務所から2名出席してきました。

当日は曇り空のなか、林業関係団体や県・市町村担当者、署管内の林業事業者など40名を超える参加を得て開催されました。久慈支署長の挨拶後、署の担当者より事業概要等について説明があり、実際の採材の検討に移りました。

会場に準備したアカマツ3本、広葉樹2本の計5本の試供木を対象に4班に分かれ、各班が全ての試供木について検討を行いました。各班による試供木の検討後、各試供木について代表の1班から採材案の説明があり、それに対して岩手県森林組合連合会より、太みのあるアカマツに関しては長材での採材を検討する等の採材の解説や留意事項などの情報提供がありました。また、採材の検討後、造材作業のデモンストレーションも行われ、広葉樹の木口面の腐れがどの程度の深さまで入っているかを確認することができました。実物を見ながら意見交換することで採材のポイントや欠点等についての理解を更に深めることができました。

最後に、岩手県森林組合連合会の担当者から県内の市況動向や、広葉樹等の取り扱いについての説明があり、青森事務所からも東北森林管理局管内の需要動向についての説明とともに、今年度の委託販売結果、スギ等針葉樹の4m採材の推進、請負事業実行時の留意事項、採材検討の講評と労働安全等についてお話させていただき採材検討会を終了しました。

青森事務所では今後も採材検討会や労働災害防止協議会へ積極的に参加し、国有林材の有効な利用と労働安全に貢献して参りたいと考えています。



（アカマツの採材検討）



（広葉樹の採材解説）